Canon

EOS Kiss X50

クイックガイド

このガイドは、基本的な機能設定と、撮影、再生方法を簡単に説明しています。撮影の際に本ガイドを携帯してご活用ください。詳しい説明については、EOS Kiss X50 使用説明書をお読みください。

日本語

CT1-5256-000

すぐ撮影するには

1 電池(バッテリー)を入れる

2 SDカードを入れる

3 レンズを取り付ける

レンズの取り付け指標(白または赤)とカメラ側の取り付け指標の色を合わせて取り付けます。

4 レンズのフォーカスモードスイッチを〈AF〉にする

5 電源スイッチを〈ON〉にする

6 モードダイヤルを〈□〉(全自動)にする

撮影に必要な設定がすべて自動設定されます。

7 ピントを合わせる

写したいものを画面中央に配置し、軽くシャッターボタンを押して、ピントを合わせます。

8 撮影する

さらにシャッターボタンを押して撮影します。

9 画像を確認する

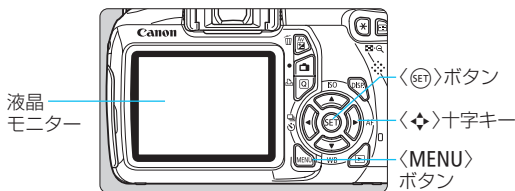
撮影した画像が液晶モニターに約2秒間表示されます。

- タイトル右の応用マークは、応用撮影ゾーン(P、Tv、Av、M、A-DEP)限定の機能です。
- 撮影可能枚数の目安(ファインダー撮影時)

温度	ストロボ撮影なし	50%ストロボ撮影
常温(+23℃)	約800枚	約700枚

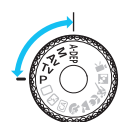
画像の再生

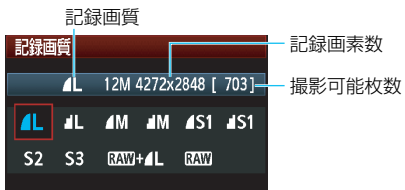
準備操作

メニュー機能の設定方法

① 〈MENU〉ボタンを押してメニューを表示します。
② 〈◀▶〉を押してタブを選び、〈▲▼〉を押して項目を選びます。
③ 〈SET〉を押すと内容が表示されます。
④ 内容を選び、〈SET〉を押します。

かんたん撮影ゾーン

動画撮影モード

応用撮影ゾーン

記録画質

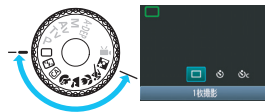
- [記録画質]を選び、〈SET〉を押します。
- 〈◀▶〉を押して記録画質を選び、〈SET〉を押します。

ピクチャースタイル 応用

- [ピクチャースタイル]を選び、〈SET〉を押します。
- 〈▲▼〉を押してスタイルを選び、〈SET〉を押します。

スタイル	画像特性・内容
スタンダード	色鮮やかで、くっきり
ポートレート	肌色がきれいで、やわらかい
風景	青空や緑の色が鮮やかで、とてもくっきり
モノクロ	白黒画像

- 〈ニュートラル〉(ニュートラル)と〈忠実設定〉(忠実設定)は、カメラ使用説明書を参照してください。

Q クイック設定

- 〈Q〉ボタンを押します。
➡ クイック設定の状態になります。

かんたん撮影ゾーン

応用撮影ゾーン

- かんたん撮影ゾーンでは、撮影モードによって設定できる項目が異なります。
- 〈✥〉十字キーで機能を選び、〈ダイヤル〉を回して設定します。
- 内蔵ストロボを上げるときは、〈ストロボアップ〉を選んで〈SET〉を押します。

カスタム機能一覧 応用

C.Fn I：露出	
1	露出設定ステップ
2	Avモード時のストロボ同調速度
C.Fn II：画像	
3	長秒時露光のノイズ低減
4	高感度撮影時のノイズ低減
5	高輝度側・階調優先
C.Fn III：AF・ドライブ	
6	AF補助光の投光
C.Fn IV：操作・その他	
7	シャッターボタン/AEロックボタン
8	SETボタンの機能
9	ストロボボタンの機能
10	電源スイッチ〈ON〉時の液晶点灯

撮影操作

各部名称

撮影機能の設定状態表示

ファインダー内表示

かんたん撮影ゾーン

撮影に必要な設定がすべて自動設定され、シャッターボタンを押せば、カメラまかせで撮影できます。

◻ 全自動	風景
ストロボ発光禁止	クローズアップ
CA クリエイティブ全自動	スポーツ
ポートレート	夜景ポートレート

- 〈Q〉ボタンを押すとクイック設定画面が表示されます。CA/ポートレート/風景/クローズアップ/スポーツ/夜景ポートレートは、〈▲▼〉を押して項目を選び、〈◀▶〉または〈⚙〉で内容を設定します。

⚡ 内蔵ストロボ撮影

かんたん撮影ゾーン

暗いときや日中逆光時に、内蔵ストロボが自動的に上がって発光します（〈ストロボ発光禁止〉〈風景〉〈スポーツ〉を除く）。

応用撮影ゾーン

- 〈⚡〉ボタンを押して、内蔵ストロボを上げてから撮影します。

応用撮影ゾーン

カメラの設定を思いどおりに変えることで、さまざまな撮影をすることができます。

P: プログラムAE撮影

〈◻〉と同じように、シャッター速度と絞り数値が自動的に設定されます。

- モードダイヤルを〈P〉にします。

Tv: シャッター優先AE

- モードダイヤルを〈Tv〉にします。
- 〈⚙〉を回し、シャッター速度を設定して、ピントを合わせます。
- ➡ 絞り数値が自動的に決まります。
- 数値が点滅するときは、点滅が止まるまで〈⚙〉を回します。

Av: 絞り優先AE

- モードダイヤルを〈Av〉にします。
- 〈⚙〉を回し、絞り数値を設定して、ピントを合わせます。
- ➡ シャッター速度が自動的に決まります。
- 数値が点滅するときは、点滅が止まるまで〈⚙〉を回します。

AF: AFモード 応用

AFモード
ワンショットAF
ONE SHOT　AI FOCUS　AI SERVO

- レンズのフォーカスモードスイッチを〈AF〉にします。
- 〈▶ AF〉ボタンを押します。
- 〈◀▶〉または〈⚙〉で選び、〈SET〉を押します。

ONE SHOT（ワンショットAF）：止まっている被写体を撮るとき
AI FOCUS（AIフォーカスAF）：AFモードを自動切り換え
AI SERVO（AIサーボAF）：動いている被写体を撮るとき

⊞ AFフレーム 応用

- 〈⊞〉ボタンを押します。

- 〈✣〉十字キーを押して選びます。
- ファインダーをのぞきながらAFフレームを選ぶときは、〈⚙〉を回して赤く光る点を移動させます。
- 〈SET〉を押すと、中央のAFフレームと自動選択が交互に切り換わります。

ISO: ISO感度 応用

ISO感度
400
AUTO　100　200　400　800
1600　3200　6400

- 〈▲ ISO〉ボタンを押します。
- 〈◀▶〉または〈⚙〉で選び、〈SET〉を押します。
- [AUTO]のときはISO感度が自動設定されます。シャッターボタンを半押しすると、設定されたISO感度が表示されます。

ドライブモード 応用

ドライブモード
連続撮影

- 〈◀ 連続/セルフ〉ボタンを押します。
- 〈◀▶〉または〈⚙〉で選び、〈SET〉を押します。

◻ ：1枚撮影
連続 ：連続撮影
セルフ ：セルフタイマー：10秒*
セルフ2 ：セルフタイマー：2秒
セルフC ：セルフタイマー：連続撮影*

* 〈セルフ〉〈セルフC〉はどの撮影モードでも選択できます（〈動画〉モードを除く）。

◘ ライブビュー撮影

- 〈◘〉ボタンを押して、ライブビュー映像を表示します。

- シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。
- シャッターボタンを全押しして、撮影します。

- ライブビュー撮影の設定は、かんたん撮影ゾーンではメニューの[◘•]タブで、応用撮影ゾーンはメニューの[◘:]タブで行います。
- 撮影可能枚数の目安（ライブビュー撮影時）

温度	ストロボ撮影なし	50%ストロボ撮影
常温（+23℃）	約240枚	約220枚

動画撮影

- モードダイヤルを〈動画〉にします。
- シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。（〈動画〉モードのときは、シャッターボタンを全押ししても静止画は撮影できません）

- 〈◘〉ボタンを押すと動画撮影が始まります。
- もう一度〈◘〉ボタンを押すと動画撮影が終わります。

動画撮影中

マイク